

# 新居浜高専 Q&Aまとめ

よくいただく質問とその回答をまとめています。

質問	回答
【高専の制度】	
新居浜高専は高校ですか？	高専つまり高等専門学校は、大学と同じ高等教育機関であり、高校ではありません。英語で表現すると“National Institute of Technology (KOSEN), Niihama College”です。したがって、年齢は高校生と同じでも高専生は「学生」と呼ばれます。
高専は専門学校ですか？	特定の範囲の技術だけを学ぶ専門学校(「専門課程」を置く専修学校)ではありません。大学と同じ高等教育機関で、1年次から専門学科に配属されますが、5年間をかけて幅広い教養科目と体系的にまとめられた専門科目を学びます。
【入試関係】	
新居浜高専では、どのような人に受験してほしいと考えていますか。	新居浜高専では、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)を定めており、以下のような中学生を求めています。 (求める中学生像) ・数学や理科が好きで、将来技術者になりたいと考えている人 ・物を作ったり、実験したりすることが好きな人 ・中学校の学習内容を身につけている人 ・目標の実現に向かって絶えず工夫し、着実に努力できる人 ・ルールや約束を守ることができ、協調性や思いやりのある人 また、各学科においてもどんな中学生に来てほしいかを定めていますので、詳しくは、「 <a href="#">学校案内</a> 」を参考にしてください。
推薦入試の面接についてアドバイスをお願いします。	「中学3年生までに何に力を入れてきたか」「高専に入学したら何がしたいのか」「将来どんな仕事か」を、新居浜高専が求める中学生像と関連付けて具体的に考えておくことをお勧めします。
推薦入試の口頭試問がありますが、どのような問題が出ますか。	口頭試問は数学と英語の基礎学力を確認する簡単な質問をして、口頭または黒板で答えてもらいます。基本的な問題であり、そのために準備をするよりは、普段の力が発揮できるように落ち着いて臨んでください。
県立高校と高専の学力検査の問題に違いがあると聞いたのですが、どのような対策をしておけばいいですか。	国立高専の学力検査の問題は、全国統一問題で行われます。国立高専機構の公式ウェブサイトに過去問題が公表されていますので、是非ご確認ください。県立高校と比較し、出題形式や問題の傾向、解答方式(マークシート)に違いがあるので、過去問題を活用して練習しておくことは重要です。問題が難しいと思うかもしれませんが、基本的には中学校で学ぶ学習内容から出題されていますので、基礎基本を大切にしっかりと力を付けておいてください。
遠方から受験します。高専近隣の中学校の受験生の方が有利になることはないですか。	遠方から受験される場合でも、地元の中学校からの受験と同じ条件であり、特に条件が厳しくなることはありません。面接、学力試験、調査書などを基に、地域や性別などに関係なく公平に選抜しています。
高専に合格したら、県立高校の受験はできないのですか。	本校に合格した人は、県立高校の入試初日に本校に来校いただき、入学手続き説明会にご参加いただきますので、ご注意ください。



質問	回答
【卒業後の進路】	
就職先ではどのような仕事が多いですか。	<p>高専には、「創造性のある実践的技術者の育成」という使命が課せられており、産業界もそのような人材を強く求めています。そのため、産業の生産現場に関係する仕事に携わっている卒業生が多いです。</p> <p>具体的には、各種機械・電気機器等の設計・製造、工場や生産拠点内の生産設備の保全、食料品や化粧品の製造・開発、ライフライン（電気・ガス・上下水道）供給体制の維持等が挙げられます。</p>
卒業後の進路として、専攻科進学と大学編入学ではどんな違いがありますか。	<p>専攻科に進学した場合は学費が安く済み、今までと同じ環境で勉強や研究を続けることができます。大学編入の場合は広い視野と広い人脈を得ることができます。</p>
高校に当たる3年間の後の短大に当たる2年間は、別の大学に行くことはできないのですか。	<p>本科3年を修了した後、進路変更する学生も中にはいますが、本校として推奨していません。高専は、5年一貫教育で技術者を育てる「高等教育機関」です。5年一貫という独自の教育制度により、5年間（高校＋短大と同じ期間）で4年制大学と同レベルの専門知識と技術を身につけられるようになっています。</p>